

早島駅周辺拠点整備に関する町民説明会

《第1回》令和5年4月23日（日） 10：00から

《第2回》令和5年4月26日（水） 19：00から

町民総合会館ゆるびの舎 2階研修室

議 事 次 第

■開 会

1. 挨拶

■説 明

1. これまでの経緯

- (1) 早島駅の現状
- (2) バリアフリー化への要望
- (3) 実施要件の壁

2. 地方創生による拠点施設による実現への転換

- (1) まちづくり拠点としての整備
- (2) 拠点施設に求められる要件
- (3) その他立地上の制約
- (4) 条件を満たす拠点用途等の設定

3. 実施設計の概要

4. 整備スケジュール

5. 質疑応答

■閉 会

事業費内訳表

R5.4.26時点

(単位：千円)

区分	項目	事業費	
対 象 金	建築工事（建物本体工事）	1,069,690	
	附帯工事（屋外広場・駐車場等）	172,496	
	附帯工事（駐輪場増改築）	15,736	
対 象 付 外 金	調査・測量費	13,321	
	基本設計・実施設計費	90,200	
	工事監理費	31,000	
	用地費	78,833	
	道路及び仮設駐輪場整備費	3,000	
計		1,474,276	
財源内訳			
交付金対象事業		1,257,922	①
	国交付金	628,961	② = ① × 0.5
	町費	628,961	③ = ① - ②
	起債充当額	566,065	④ = ③ × 0.9
	国交付税措置	169,819	⑤ = ④ × 0.3
	町負担額	396,245	⑥ = ④ - ⑤
	起債充当しない額	62,896	⑦ = ③ - ④
交付金対象外事業（町費）		216,354	⑧
よって			
事業費		1,474,276	= ① + ⑧
国実質負担額		798,780	= ② + ⑤
町実質負担額		675,496	= ⑥ + ⑦ + ⑧

※事業費は現時点（R5.4.26）のものです。
今後変更になる場合があります。

■ 外観イメージ(北側から見る)

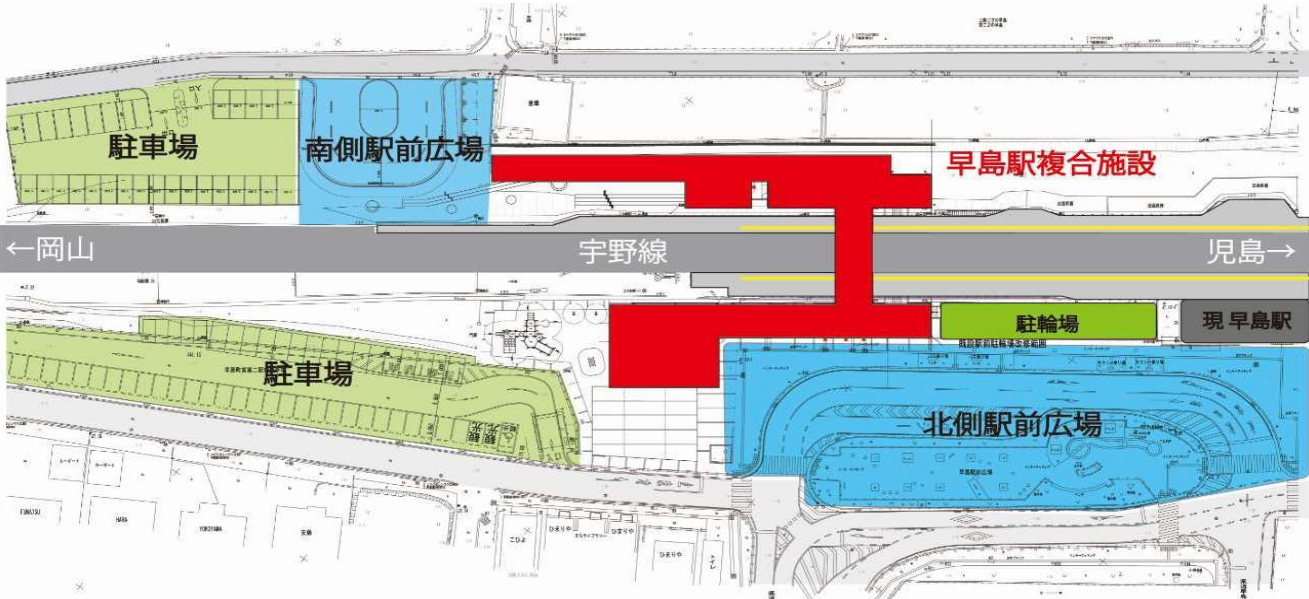


■ 外観イメージ(南側から見る)

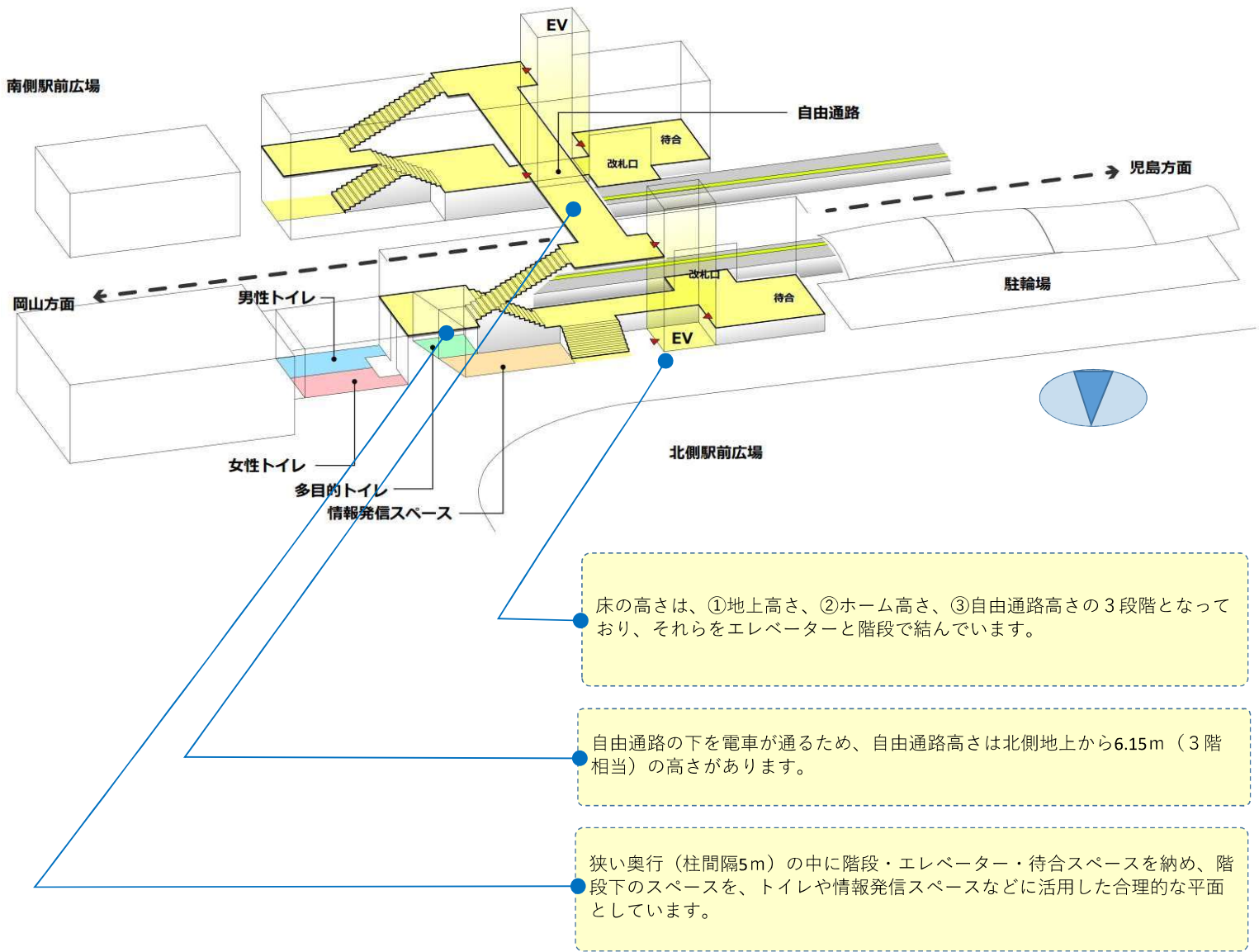


■ 位置図・配置図

北口・南口とも、駅複合施設を中心に、駅前広場・駐車場・駐輪場という用途構成として配置しています。



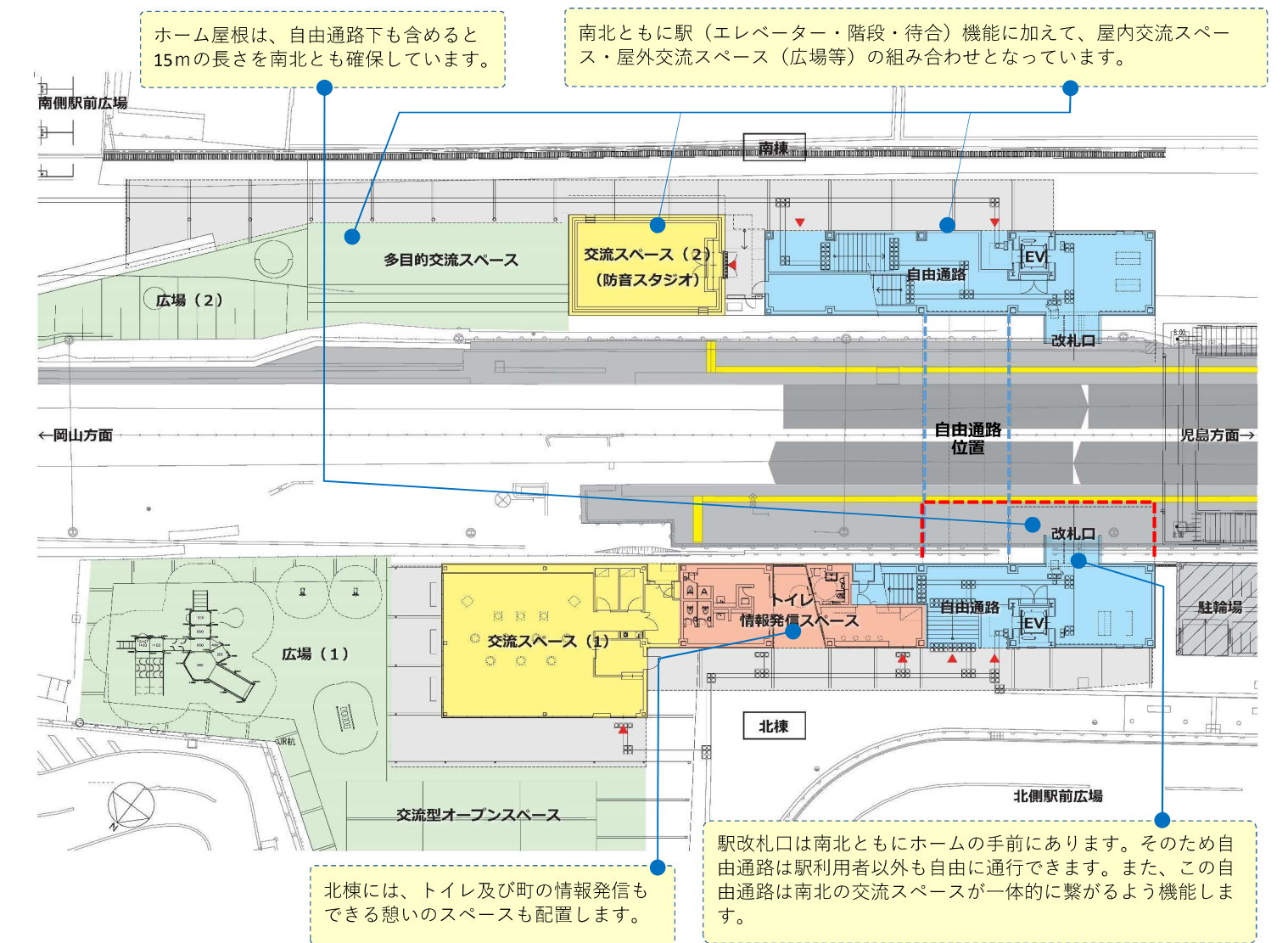
■ 駅構内図(フロアマップ)



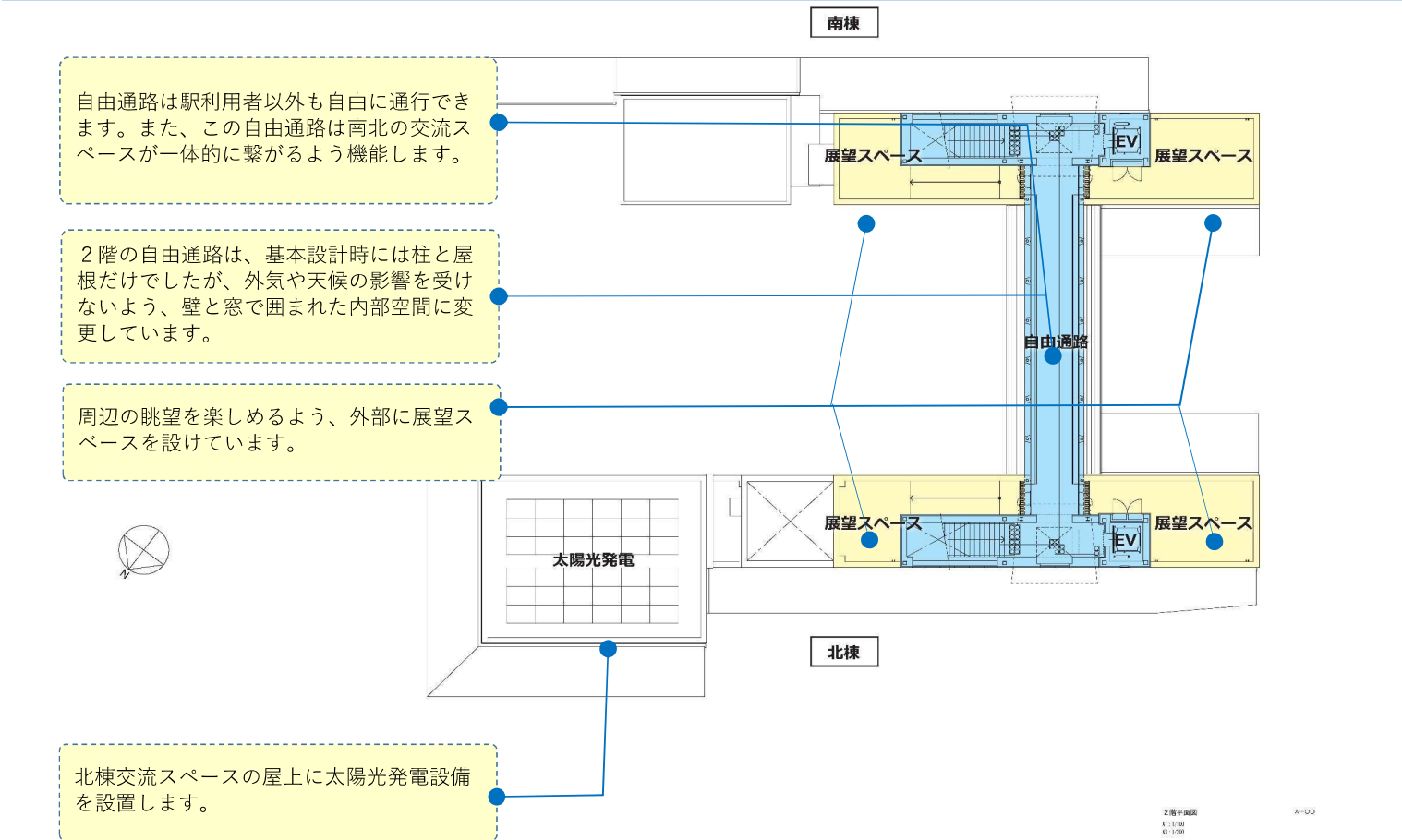
■ 建物概要

工事期間	令和6年度～令和7年度
敷地面積	3, 8 4 3 m ²
延べ床面積	7 9 5 m ²
構造	鉄骨造2階建・一部鉄筋コンクリート造平屋建
南北自由通路延長・幅員	延長：17.4m 通路有効幅員：2m
設備等概要	エレベーター 南北各1基（11人乗り） トイレ（男・女・多目的）（北棟・多目的トイレはオストメイト対応） 太陽光発電設備：13.5KW h 北棟屋内交流スペース：100m ² （60.5帖） 南棟屋内交流スペース：65m ² （39帖・太鼓練習も可能な防音仕様）

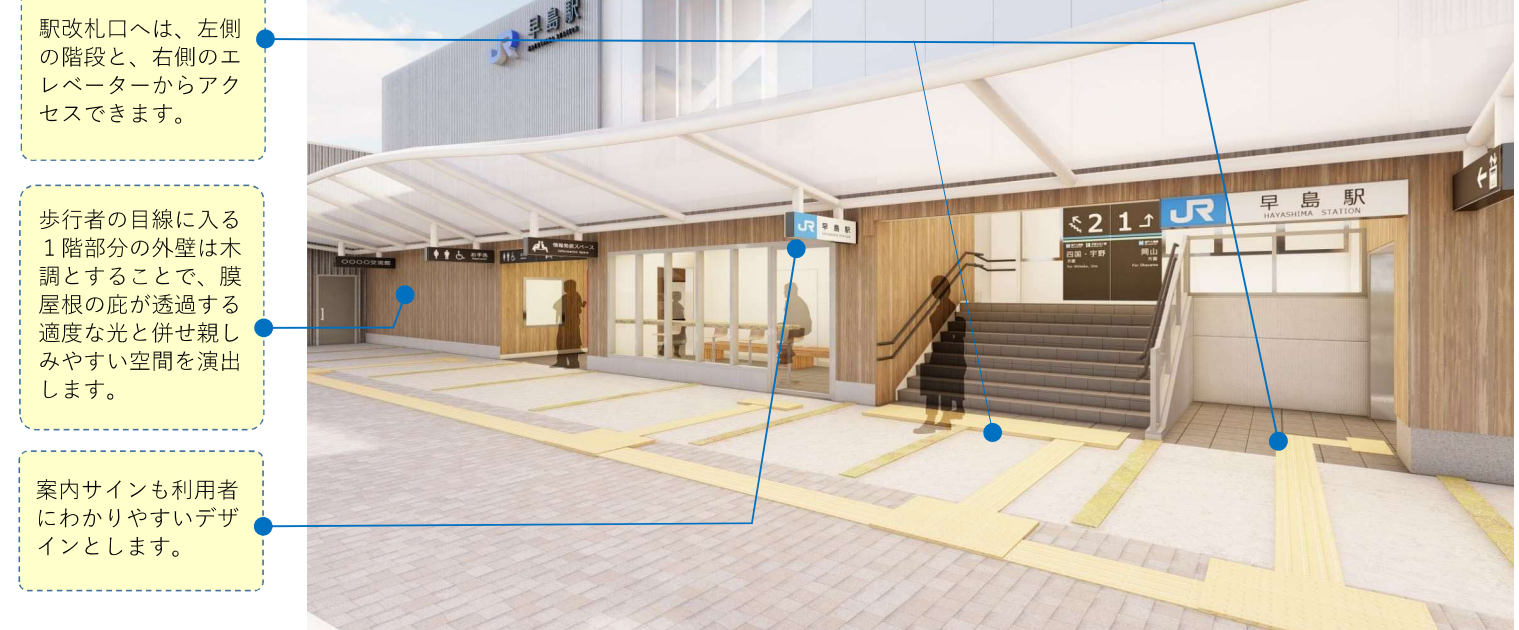
1階平面図



2階平面図



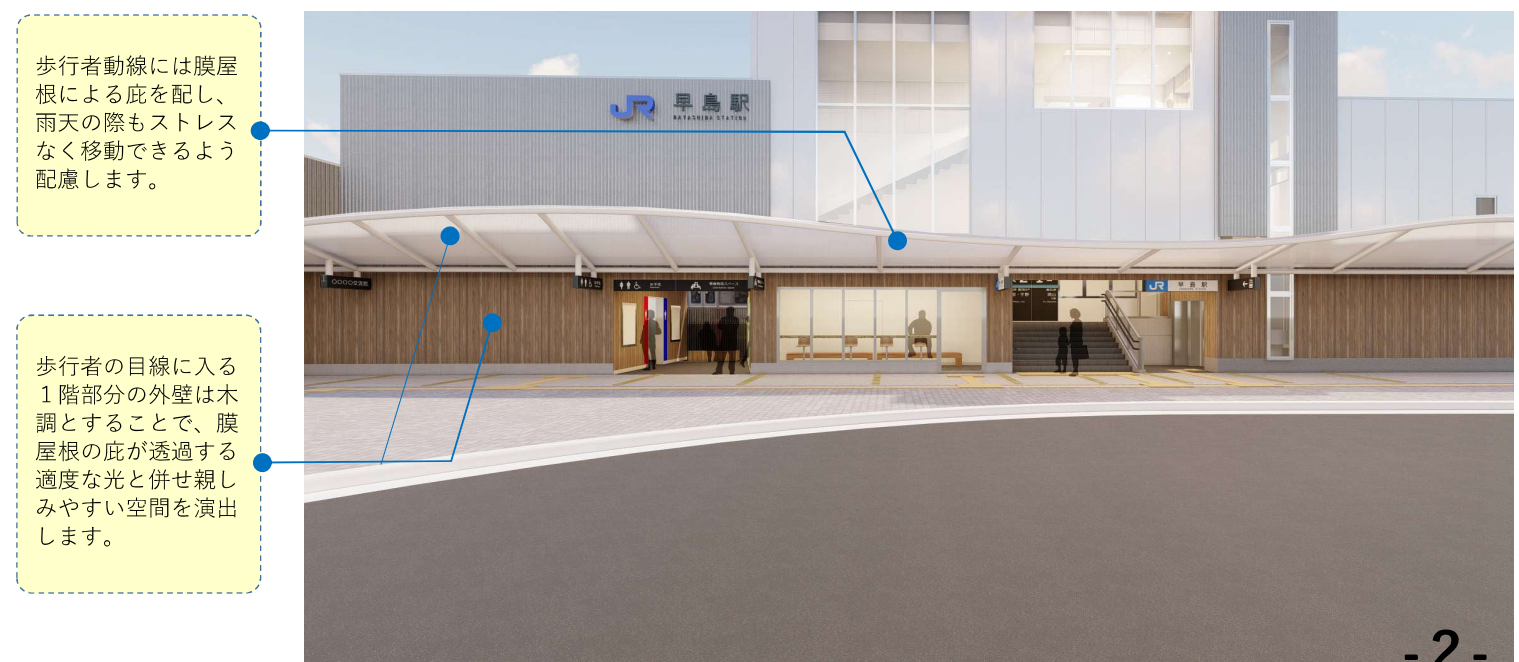
北棟／改札への入り口を見る



北棟／トイレ・情報発信スペースへの入り口を見る



北棟／現在の駅前広場付近からの全景を見る



■北棟改札口・待合／西(駐輪場方面)から見る

南北ともホームに入る手前に改札口があります。エレベーターから開札口までの移動距離に配慮しています。

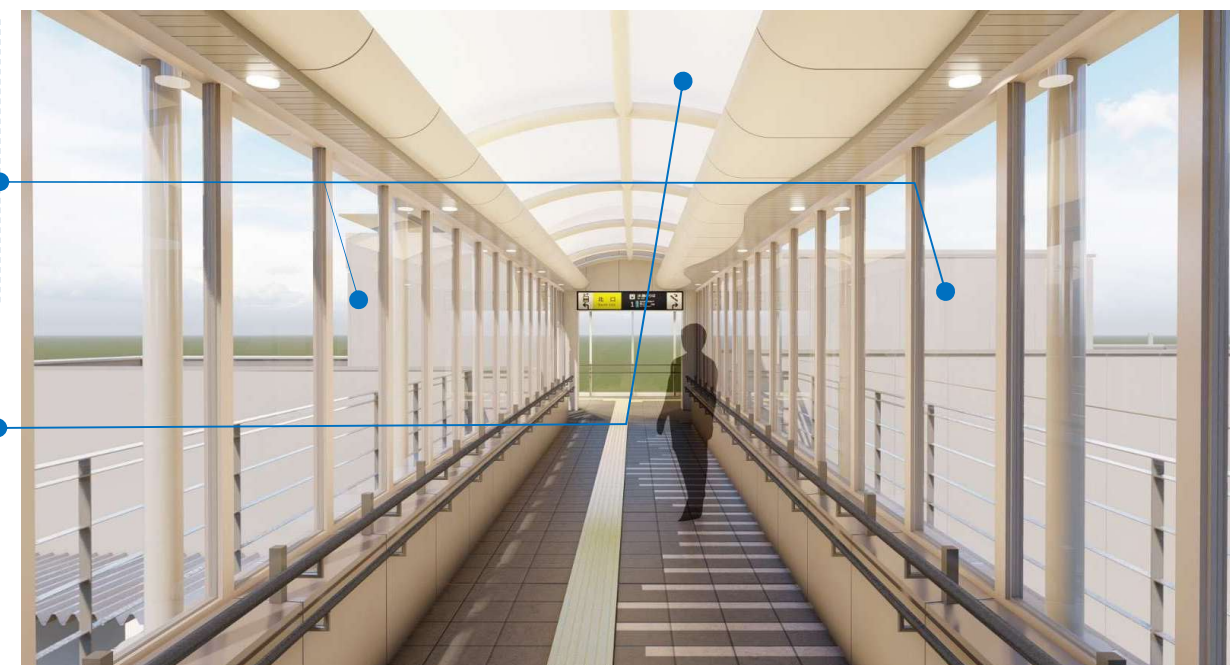
西側の駐輪場から直接入れるようにしています。



■自由通路／内部

基本設計時には柱と屋根だけでしたが、外気や天候の影響を受けない、窓で囲まれた開放的な内部空間にしています。これにより雨の吹込み等による床滑りも防止できます。

屋根は膜屋根とすることで太陽光が適度な透過する明るい空間とします。



■自由通路／エレベーターホール

自由通路の両端には、階段降り口とエレベーターがあります。エレベーターホールの壁を木調とし、開放的な窓と膜屋根からの光で、閉塞感のない明るい空間とします。



■自由通路・エレベーター・階段部分／上空から見る

階段室・エレベーターホール・自由通路部分は、外気や天候の影響を受けない内部空間にしています。

膜屋根による曲面の屋根により柔らかな外観とするとともに、適度な光の透過により明るい空間とすることができます。

干拓地特有の高低差のない周辺の眺望を楽しめるよう、外部に展望スペースを設けています。



■北側屋外交流スペース・広場／北側(観光センター付近)から見る

東部分は、屋外交流スペースや広場を中心とした屋外での多目的な利用に対応するエリアとしています。

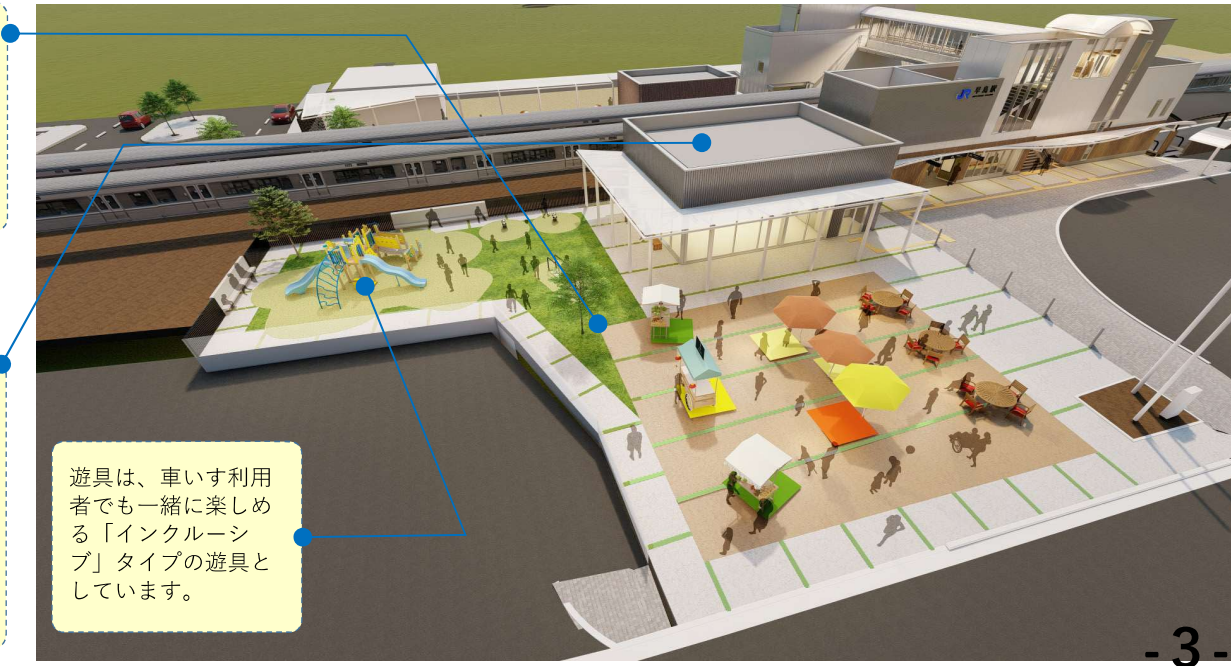
屋内空間は、交流スペース(100㎡)とダンス練習などに必要な規模としており、決して大きくはありませんが、3.8mの深い軒下空間が、建物の内と外を緩やかに結び付けることで、日本の縁側のような外部広場と一体となった利用を可能とします。



■北側屋外交流スペース・広場／北側上空から見る

外部敷地の形状を利用し、子どもが遊べる遊具のある広場と、多目的なイベントが行えるオープンなスペースとに機能を分節しています。

屋内交流スペース建物の屋上に太陽光発電設備を設置します。これにより平時は再生可能エネルギーによる電力負荷の低減と、災害時は交流スペースの非常用電源として使用します。

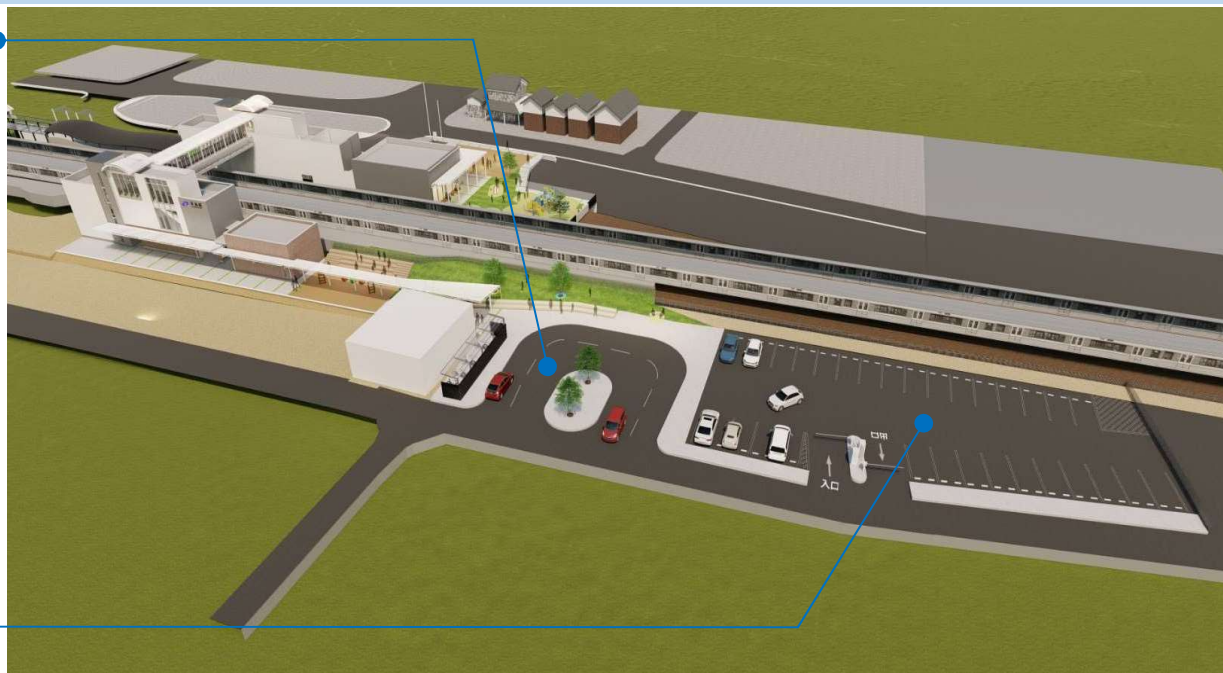


遊具は、車いす利用者でも一緒に楽しめる「インクルーシブ」タイプの遊具としています。

■南棟・駅前広場・駐車場／南側上空から見る

南口にもロータリーを設けることで、東西どちらにも車両が退出することができます。

基本設計時より東側へ敷地を拡大し、駅南改札利用者用のゲート式駐車場（31台）の整備を行います。



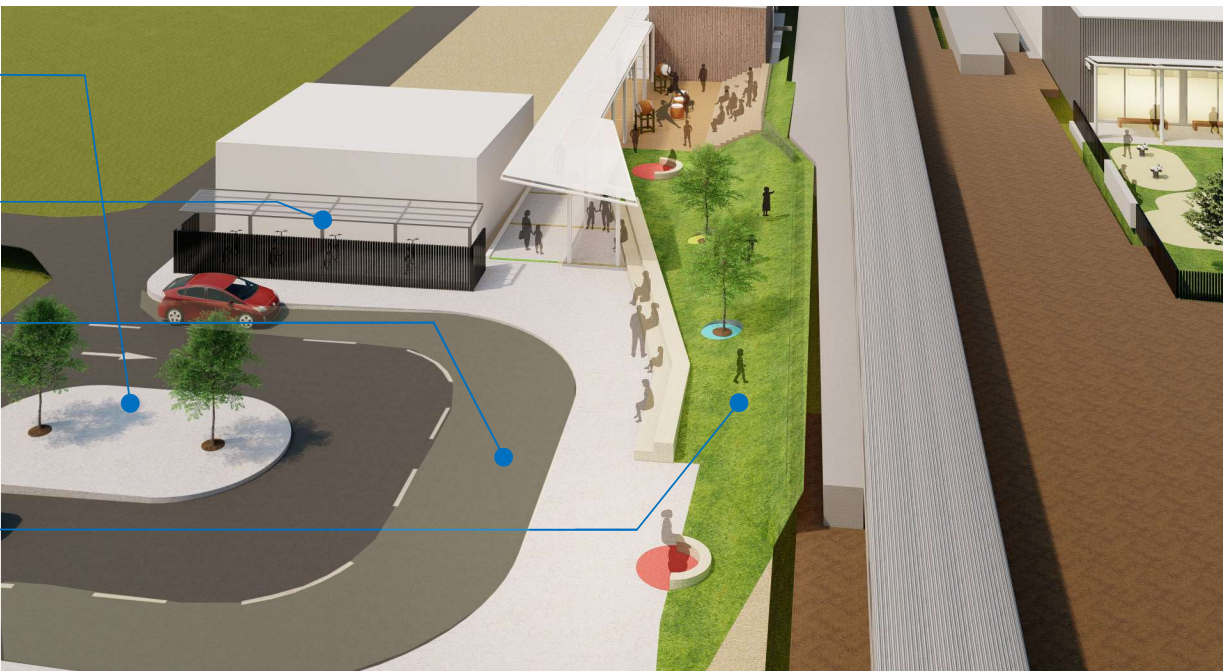
■南側屋外交流スペース／南側上空から見る

ロータリーから、東西どちらにも車両が退出することができます。

南口にも30台分の駐輪場を設置します。

タクシー及び送迎用駐車スペースとなります。

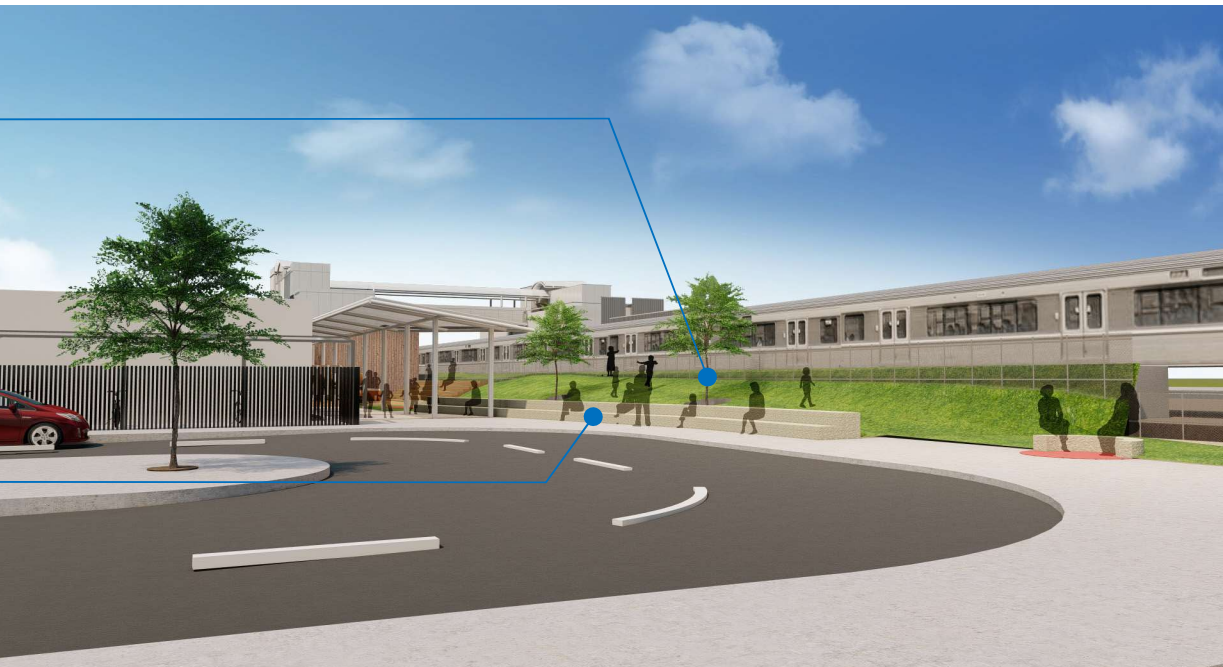
駅ホームとの間の高低差（1.5m）は、擁壁でなく広場も兼ねた緑化された法面とすることで、事業費をかけることなく一体的に見える工夫をしています。



■南側屋外交流スペース・広場／南ロータリーから見る

駅ホームとの間の高低差（1.5m）は広場も兼ねた緑化法面とすることで、立体的な緑地となり駅ホームとの一体感も高めます。

広場には迎えを待つ際や、憩いや交流も育めるようベンチなどを整備します。



■南側屋外交流スペース・広場／西から東を見る

南改札口から、駅ロータリーまでは、屋根付きの通路で、雨に濡れることなく移動できます。

ロータリー手前の東端部は、屋根範囲を広げることで、雨に濡れることなく迎えを待つことが出来ます。



■屋外交流スペース・広場／多目的交流スペース

南屋内交流スペースは、太鼓練習も可能な防音に特化した仕様としているため、窓等の開口部は限定的ですが、隣接したスペースを広場とし、法面を階段状にすることで、小規模ながら演奏等のイベントも行えるようにします。

駅以外の拠点機能としては、北側同様、屋外交流スペースや広場を中心とした屋外での多目的な利用に対応することで事業費の抑制を図ります。



■今後のスケジュール

事業名	2022	2023	2024	2025	2026
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施設計	詳細設計・各種申請				
JR西日本協議	計画協議（岡山支店⇒本社）	協定締結			
国交付金関係	事前協議	交付申請			
工事			J R 受託工事・町発注工事		
用地買収					用地買収
議会・町民への報告	議決案件のほか議会定例会・広報紙等で随時情報提供				